他への重複投稿はご遠慮ください。 る場合は別にしてください。広報投稿作品の 漢字にはふりがなを記入し、数種類に投稿す 役場広報係まで。締切は毎月15日(必着)です。 投稿は投稿者の住所、電話番号を記入し、

短 歌

末武 有二 選

る姿勢 に咲く 部員足らず楽器掛け持ち奏でる子ら心ひとつ 木蓮の蕾食み来るヒヨドリを母窓越しに弓射 和に託す 良し悪しも有りて平成終わります次の幸せ令 新しき令和の年を祝うごと庭の蔓バラ鮮やか の真ひかり 令和なるよき元号の始まりて瑞穂の国に初夏 木山 安永 宮園 小谷 今吉マキ子 本田 福田 金子フム子 龍子

いただきしレタス一玉みずみずし我の心を励 孫踊り子草を さと山に静かに咲く花 花の名を祖母に聞く 古閑 井上てつ子

今も残るか 野イチゴは赤い顔して食べごろよ懐かしの味 誰に伝えん 夫逝きて独り言だけ響く部屋このむなしさをいま 馬水 惣領 鎌田 川野 正吾

お願い 投稿は、一人一首でお願いします。

西田

正巳

俳 句

糖尿のわれに目の毒かしわ餅 赤井 河野

増岡

伸禧

全平

選

小谷 今吉マキ子 松原まゆみ 井上てつ子

半開の牡丹の花や雨に揺れ 朝仕事入れ立てコーヒー庭で飲む

馬水 西田 晋

広崎 阪口由美子 瀬戸サイ子

山口サツキ 辻ヶ峰子

麦秋や頓に水減り潮井宮

風吹けば崩れ落ちたり芥子の花 亡き人の笑顔はやさし春の夢 青がえる渓谷釣りに谺する たんぽぽは種吹く風に身を任す しょうぶ湯の窓に優しき月明かり

集落の掟は口伝猪さばく

英敏

下がった水田(畑)の中にあり、

「堂園池」は、堂園集落から少し

代から暮らし (生活) と密接な関連

布田川左門 選

があったようです。

柳

『お題』 熊本城・仮設村

樟若葉いのちを永久に熊本城 くすわか ば 四百年地震に負けた武者返し

蘖の桜の若木枝広げ若葉のしげる花も終わり

惣領

島田

廣子

の吹奏楽部

安永

守住

孝子

拝みます飯田山から清正公さん

※参考例

仏壇が引っ越す別れ仮設村

広崎まゆみ

赤井すいすい

園・上陳地区の稲作に、また、防

池から流れる水量は豊かで、

火用水としても欠かせないものでし

平田の老女

ていました。夏には蛍狩りができる そして秋には川ガニがたくさん捕れ 魚も多く、ウナギやハヤ、どんこ、 た。昔は川に洗い場が設けられ

ほど蛍も飛び交っていました。

地元には、池にまつわる民話(大

惣領 正吾 八十路の花

所に大蛇がおり、現西原村の浜ン

- 集落の南側山中の蛇ヶ谷という

蛇伝説)も残されています。

やぶにらみ

踏みちがえした老人は即返納

れを知った旅の僧侶はお経の功徳で き来するので人々は困っていた。こ 谷の大蛇とは夫婦だった。2匹が行

大蛇を鎮め、

池を掘らせ、池の守

川柳のお題 10年後

に釈迦堂を建て、毎年4月8日に りも命じた。僧は池を見下ろす地

自由詠

よろくれて見失いたる雲雀どこ空の青さに心

ますみどり

安永

山下たか子

「お題」

米中が腕まくりする地球危機 老いの身に10連休は長すぎる

人落選これでよいのか町議選

※参考例



陳 上

園池と 大蛇伝説